

## 人権教育授業研究会盛会でした、大きな成果！ 11月29日(火)



【2年生活「つたわる広がるわたしの生活」】



【4年国語「クラブ 活動-フルーツを作ろう」】



【5年道徳「ロソツの友だち」】



【研究経過説明 高島教諭】



【講演会 早川裕隆氏】



【御礼の言葉 鈴木校長】

11月29日(火)、本校を会場として、福島県教育委員会委託 平成28年度常葉中学校区人権教育開発事業の授業研究会を開催しました。田村市はもとより本宮市・田村地区の教職員の他、午前中に文化の館で行われた福島県人権教育推進協議会に参加された福島県教育庁関係の先生方、田村市人権擁護委員、民生児童委員、学校支援地域本部事業、保護者の皆様と合わせて80名にご参会いただきました。5校時、第2・4・5学年の授業が公開され、参観者から「一人一人の個性をふまえて人権に配慮している点に好感がもてた。」「自信のない子どもも意図的指名をして認めることで、授業に参加していた。」「自分だったらどうするかという主題に児童の意識を集中させていたのが大変すばらしかった。」等、連携型小中一貫教育を目指して、本町1幼稚園3小学校1中学校が協働して研究実践を推進してきた成果をたくさんの方に認めていただきました。「子ども達が知らない来校者にも自分からあいさつしていますね。」というお誉めの声もお寄せいただきました。全体会では研修主任 高島教諭より「研究経過説明」を行い、「授業に関する質疑」では有意義な意見をいただきました。次に、上越教育大学大学院教授 早川先生に「いじめのない心豊かな学校づくり・町づくり」～子どもの思考と行動を中心に～というテーマで講演いただきました。早川先生の前歴は小学校教員、児童相談所の児童保護司ということで、先生の経験や実践から様々なケースを挙げられ、恵まれない環境に育った「子どもの内面に目を向けること」「子どもはみんないい子になりたい」ということ、道徳の授業を含めて「教育の影響力の大きさ」等、大変感動的なお話でした。鈴木校長より講師の先生、参会者、関係機関の皆様へ「御礼の言葉」を述べ全体会を閉じました。これまで教育活動にお力添えいただいた地域の皆様、当日駐車場係を担当してくださった本会役員の皆様、お陰様で良い研究会となりましたこと、誠にありがとうございました。

**入賞おめでとう！**

■第49回福島県児童作文コンクール

○佳作 2年 佐藤 さん

## クラブ見学 2年

11月24日(木)5校時、2年生のクラブ見学がありました。スポーツ・手芸調理・ゲーム・パソコン・科学の5クラブ毎、2年生が体験して楽しい内容を工夫して迎えていました。2年生は初めての体験に「楽しそうだから全部入りたい。」と喜んでいました。



【調理手芸クラブ：パンケーキ作り】【スポーツクラブ：ドッジビー】

## 赤羽根共同募金を寄託しました



児童会環境委員会の子ども達を中心に全校生へ募金を呼びかけ、11月21日(月)から24日(木)まで朝の時間を利用して募金活動を行いました。3日間で集まった募金は11月25日(金)昼休み校長室に於いて、代表の6年博多菜月さんから田村市社会福祉協議会の方に寄託しました。皆様のご協力に感謝いたします。

## 4・5年生 陸上競技出前講座



12月1日(木)福島県体育協会主催の陸上競技出前講座を4・5年生が受講しました。講師は福島大学トラッククラブの菊田先生です。準備運動の後、「コーディネーショントレーニング」という自分の身体を調整する運動能力を高める動きを練習しました。

体力・運動能力調査の結果、本校児童は「全国と同等の体力レベルにある。低学年では

敏捷性と瞬発力、中学年では筋力と筋持久力、高学年では瞬発力が全国平均より高いが、一方で全学年とも柔軟性が全国平均より低い。学年が上がるにつれて体力の低下と個人差の拡大傾向が見られる。」という実態です。授業の始めに運動身体づくりプログラムを取り入れたり、校内水泳・マラソン・縄跳び大会や外部の陸上大会へ向けた練習を継続的に行ったりするなどして、運動量の確保と質の向上に努めているところです。また、ボール投げは学年差が顕著なため各学年タオルを使った練習やボール遊び等も意識して指導しています。

### 履き物をそろえるとき、何を考える？

教育哲学者 森信三氏(1896~1992)に師事した寺田一清さんは、あるとき師から「あなたは脱いだ履き物のそろえ方も知らんのか」という注意を受けたといいます。寺田さん自身はきちんとそろえているつもりだったそうですが、師の真意は「後から来る人のために、位置に気をつけて並べているかどうか」にあったということです。「思いやりの心」とは、「直接ふれあう人に向けて発揮すること」だけに意味があるわけではありません、日々、一つの思いにも一つの行いにも「思いやり心」をはたらかせて生活すること・・・そこには、周囲の人々との間に円滑な人間関係を築くとともに、自分自身の心を成長させ、人生を明るい方向へと導いていく、無限の力がひそんでいます。

(「ニューモラル 心を育てる言葉 366日」より抜粋)

